

国際赤十字連盟、UNICEF、WHO 合同  
学校における COVID-19 予防と制御のための重要なメッセージと行動

2020年3月版

原文（英語）：

Key Messages and Actions for COVID-19 Prevention and Control in Schools

March 2020

[https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/key-messages-and-actions-for-covid-19-prevention-and-control-in-schools-march-2020.pdf?sfvrsn=baf81d52\\_4](https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/key-messages-and-actions-for-covid-19-prevention-and-control-in-schools-march-2020.pdf?sfvrsn=baf81d52_4)

学校における  
COVID-19 予防と制御のための  
重要なメッセージと行動

unicef 



 IFRC



©UNICEF/UNI220408/Pacific

## 内容

- I. **COVID-19について分かっている事実**
  - ・ COVID-19
  - ・ 非医薬品介入 (Non-Pharmaceutical Interventions: NPIs)
- II. **イントロダクション**
- III. **学校管理者、教職員**
  - ・ キーメッセージとアクション
  - ・ チェックリスト
- IV. **保護者や介助者、地域の人**
  - ・ キーメッセージとアクション
  - ・ チェックリスト
- V. **学童・児童**
  - ・ チェックリスト
  - ・ 年齢に応じた保健教育
    - 幼稚園・保育園
    - 小学校
    - 中学校
    - 高等学校

## I. COVID-19について分かっている事実

### COVID-19とは？

COVID-19は新型コロナウイルスによる疾患です。'CO' はコロナ、'VI' はウイルス、'D' は病気を表します。以前は、この病気は、'2019 新型コロナウイルス' または '2019 - nCoV' と呼ばれていました。COVID-19ウイルスは、重症急性呼吸器症候群（SARS）やいくつかのタイプの風邪と同じウイルス科に属する新しいウイルスです。

### COVID-19の症状は？

症状としては、発熱、咳、息切れなどがあります。重症化すると、肺炎を起こしたり、呼吸困難になることもあります。さらに、稀に命に関わることもあります。これらの症状は、インフルエンザや風邪に似ています。そのため、COVID-19を持っている人がいるかどうかを確認するために検査が必要になります。

### COVID-19はどのように広がるのでしょうか？

ウイルスは、感染者の呼吸器の飛沫との直接の接触（咳やくしゃみによって発生する）によって感染します。また、ウイルスで汚染された表面に触れたり、顔（目、鼻、口など）に触れたりすることでも感染します。COVID-19 ウイルスは表面上で数時間生存することがありますが、簡単な消毒剤で死滅させることができます。

### 最もリスクが高いのは誰でしょうか？

COVID-19が人々にどのような影響を与えるかについて、日夜研究が取り組まれています。高齢者および糖尿病や心臓病などの慢性疾患を持つ人は、重篤な症状を発症するリスクが高いようです。子供たちにどのような影響を与えるかについては、まだ研究が進められている段階です。どの年齢の人でも感染する可能性があることはわかっていますが、これまでのところ、子どものCOVID-19の症例報告は比較的少ないのが現状ですが、新しいウイルスであるため、子どもたちにどのように影響するかについてもっと研究する必要があります。このウイルスはまれに命に関わる可能性がありますが、今のところ主に持病のある高齢者の間で報告されています。

### COVID-19の治療法は？

現在、COVID-19のワクチンはありません。しかし、症状の多くは治療が可能であり、医療従事者から早期の治療を受けることで、この病気の危険性を低くすることができます。効く可能性のある治療法を評価するために、いくつかの臨床試験が実施されています。

### COVID-19の流行拡大を遅らせたり、防いだりするにはどうしたらいいのでしょうか？

インフルエンザや風邪のような他の呼吸器感染症と同様に、病気の広がりを遅らせるために

は、公衆衛生対策が重要です。公衆衛生対策とは、以下のような日常的な予防行動のことを言います。

- ✓ 病気のときは家にいる。
- ✓ 咳やくしゃみをするときは、肘を曲げて口と鼻を覆ったり、ティッシュで覆ったりする。使用済みのティッシュはすぐに処分する。
- ✓ 石鹸と水でこまめに手を洗う。
- ✓ 頻繁に触れる表面や物を清掃する。

COVID-19についての知見が増えるのに伴って、保健当局から追加の行動が推奨されるかもしれません。

## II. イントロダクション

コロナウイルス感染症（COVID-19）は多くの国や地域に広がっており、その流行に対して、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（Public Health Emergency of International Concern : PHEIC）が宣言されています。COVID-19の原因となるウイルスについて、まだ多くのことがわかっていませんが、感染者の飛沫（咳やくしゃみなどの呼吸器症状で発生する）に直接触れることで感染することがわかっています。COVID-19の感染拡大が続く中、地域社会がさらなる感染を防ぎ、発生の影響を軽減し、対策を支援することが重要です。

子どもたちや教育施設の保護は特に重要です。学校現場でのCOVID-19の潜在的な感染拡大を防ぐためには予防策が必要ですが、ウイルスに感染した可能性のある生徒や職員への差別や偏見を避けなければなりません。COVID-19への感染は国境、民族、障害の有無、年齢、性別に関わりなく起こることを覚えておくことが重要です。教育現場は、すべての人を受け入れ、尊重し、包摂的であり、支援的な環境であり続けるべきです。学校がとるべき対策は、ウイルスにさらされている可能性のある生徒や職員によるCOVID-19の侵入と拡散を防ぎ、混乱を最小限に抑え、生徒や職員を差別から保護することです。

### 目的

今、世界中の子どもや若者たちは、変化をもたらす強力な担い手であり、次世代の介護者、科学者、医師でもあります。どのような危機であっても、子どもたちが学び、思いやりの心を育み、より安全で思いやりのある地域社会を築きながら、回復力を高めるのを助ける機会を与えることが重要です。COVID-19に関する情報や事実を知るとは、学生の病気に対する恐怖心や不安を軽減し、生活の中で二次的な影響が出た場合にも対処できるようにするのに役立ちます。このガイダンスでは、学校の管理者、教職員、保護者、介助者、地域社会のメンバー、そして子どもたち自身が安全で健康的な学校を推進するための重要なメッセージと検討事項を提供しています。

本文書の目的は、COVID-19の感染予防、早期発見、感染制御を通じた、学校やその他の教育施設の安全な運営のための明確で実行可能なガイダンスを提供することです。このガイダンスは、COVID-19の感染がすでに確認されている国の特徴を踏まえたものですが、その他のすべての地域・背景においても適用できます。教育は、家庭、学校、地域社会において、ウイルスの拡散を防ぐ方法について他の人に話すことで、生徒が病気の予防と管理の提唱者になることを促すことができます。安全な学校運営を維持したり、閉鎖後に学校を再開したりするには、多くの配慮が必要ですが、うまくいけば、公衆衛生を促進することができます。

### III. 学校管理者、教職員

#### キーメッセージとアクション

##### 基本原則

基本的な原則に従うことで、生徒、教師、職員の安全を確保し、この病気の蔓延を食い止めることができます。安全で健康な学校のための推奨事項は以下の通りです：

- ・ 病気の生徒、教師、その他のスタッフの登校を禁ずる。
- ・ 安全な水と石鹼を使った定期的な手洗い、アルコール消毒剤や塩素溶液を使った手指消毒の徹底と、最低でも1日1回、人が触れるところの消毒と清掃を実施する。
- ・ 水、衛生、廃棄物管理設備を提供し、環境洗浄と除染の手順に従う。
- ・ 人と人との物理的距離をとることを促進する（大人数で集まることを制限するなど、伝染性の高い病気の広がりを遅らせるための行動）

##### 最新の事実を知る

コロナウイルス感染症（COVID-19）の症状、合併症、感染経路、感染予防法など、基本的な情報を理解しましょう。ユニセフ、WHO、国の保健省の勧告などの信頼できる情報源を通じて、COVID-19に関する情報を常に得ましょう。口コミやオンラインで流布する、偽情報や迷信に注意しましょう。

##### 安全な学校運営の確保

以下の「安全な学校環境に関するチェックリスト」を参照してください：

学校の緊急時および緊急時の計画を更新または作成します。学校が避難所や治療施設などとして使用されないことを保証するために、当局と協力が必要です。リスクに基づいて、通常学校の敷地内で行われる地域社会の行事や集会を中止することを検討します。

頻繁な手洗いと衛生管理を強化し、必要な物資を調達しましょう。石鹼と水を使った手洗いを準備し、維持し、可能であれば、各教室、出入り口、給食室やトイレの近くに、アルコール系の擦式ハンドラブ（手指消毒剤）を置きます。

学校の建物、教室、特に水と衛生設備を少なくとも1日1回、特に多くの人が触れる物の表面（手すり、給食台、スポーツ用具、ドアや窓の取手、おもちゃ、教具や学習補助具など）を清掃し、消毒します。

以下のような人と人との物理的距離の取り方を実践しましょう：

- ・ 学校の一日の始まりと終わりをずらす。
- ・ 集会やスポーツ観戦など、混雑を生み出すイベントを中止する。
- ・ 可能であれば、子ども用の机を1メートル以上離して設置する。
- ・ 人との間にスペースをつくることや不必要に触れあわないようにすることを教え、見本を見せる。

### 生徒や職員が体調を崩した場合の手順を確立する

地域の保健当局、学校の保健スタッフと事前に計画を立て、緊急時の連絡先リストを更新します。病気の生徒や職員を、健康な生徒や職員から切り離すための手順を確実にし、罹患者が差別の対象とならないようにし、保護者や介助者に知らせ、可能な限り医療提供者や保健当局に相談します。生徒や職員は、状況に応じて、直接医療機関に紹介されるか、自宅に帰される必要があります。事前にスタッフ、保護者、生徒と手順を共有しておきましょう。

### 情報共有の促進

国の保健・教育当局のガイドラインに従う。学校での感染予防と制御の取り組みを含め、病気の状況に関する最新の情報を提供し、職員、保護者、生徒と最新の情報を共有します。家庭内の誰かがCOVID-19と診断された場合、保護者は学校と保健医療当局に注意を喚起し、子どもを自宅に留守番させるようにします。情報共有を促進するために、保護者会やその他の仕組みを活用します。また、掲示板やトイレ、その他の中心的な場所に貼ることができるポスターなど、子どもにとって理解しやすい資料を作成するなどして、子どもたちの疑問や懸念に対応するようにしてください。

### 適切な学校方針を策定する

学生や職員が、病気の時や病気の家族の看病をする時には家にいることを奨励するために、柔軟な出勤と病気休暇の方針を策定します。皆勤賞やインセンティブの使用は控えましょう。重要な仕事の機能と立場を特定し、他のスタッフにもその業務を行わせることで、代替的な対応ができるように計画しましょう。特に休暇期間や試験に関連して、年間予定を変更する可能性がある場合に備えて計画を立てます。

### 出席状況をモニタリングする

学校の欠勤監視システムを導入し、生徒と職員の欠勤を追跡し、学校での通常の欠勤パターンと比較します。呼吸器系の病気による生徒やスタッフの欠勤が大幅に増加している場合は、地元の保健当局に警告しましょう。

### 学習継続のための計画

欠勤・病気休暇や一時的な学校閉鎖の場合は、質の高い教育を継続的に受けることができるよう支援します。これには以下が含まれます：

- ・ オンライン/e-ラーニング戦略の利用
- ・ 家庭学習のための読書と演習の割り当て
- ・ 学術的な内容のラジオ、ポッドキャスト、テレビ放送
- ・ 生徒のフォローアップを毎日または毎週遠隔で行うように教師を割り振る
- ・ 教育を加速させるための見直し・開発の戦略をたてる

### 的をしぼった健康教育の実施

日々の活動や授業の中に、病気の予防と制御の内容を組み込みましょう。年齢、性別、民族、障害に対応した内容であり、活動が既存の教科に組み込まれていることを確認します。（年齢に応じた健康教育のセクションを参照）

### こころのケア（精神保健および心理社会的支援：MHPSS）ニーズへの対応

疑問や心配事を話し合うように子どもたちを促しましょう。子どもの反応が異なるのは当たり前であることを説明し、疑問や懸念があれば先生に相談するように促します。年齢に応じた適切な方法で、包み隠さずに情報を伝えます。生徒が仲間をサポートし、仲間外れやいじめを防ぐ方法を指導します。教師が自身の健康を守るために利用可能な地域のリソースを理解していることを確認します。学校保健師／社会福祉士と協力して、抑うつのは兆候を示す生徒や職員をみつけ、支援しましょう。

### 脆弱な（弱い立場の）人々への支援

社会制度を活用して、健康診断、給食プログラム、または特別なニーズを持つ子どもたちのためのセラピーなど、学校で実施する可能性のある重要なサービスの継続性を確保します。障害のある子どもたちの具体的なニーズを考慮し、社会的に疎外された人々が病気やその副次的な影響をより強く受ける可能性があることを考慮します。家庭で病人の世話をする責任をもったり、学校外で搾取されたりなど、女兒のリスクを高める可能性のある具体的な影響を検討しましょう。

### 学校管理者・教職員チェックリスト

- 1. 定期的な手洗いと積極的な衛生行動を促進・実演し、その実施状況をモニタリングする。男女それぞれに適切で清潔な個別のトイレを確保する。
  - 年齢に応じた手洗い場で石鹼と安全な水が利用できるようにする。

- こまめで徹底した手洗いを促す（20秒以上）。
  - トイレ、教室、ホール、出口付近には、可能な限り手指消毒剤を置く。
  - 男女それぞれに、清潔な個室トイレを十分確保する。
- 2. 校舎、教室を消毒する。特に多くの人に触れる場所（手すり、ランチテーブル、スポーツ用品、ドアや窓の取手、おもちゃ、教材や学習器具など）は念入りに、水回りやトイレなどは最低でも一日一回は清掃する。
- 表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウムを0.5%（5000ppm相当）、小物の消毒には70%エチルアルコールを使用し、清掃員には適切な道具や装備を確保する。
- 3. 天候が許す限り、風量を増やし、換気をする（窓を開ける、エアコンを利用できる場所は利用するなど）
- 4. 良い衛生習慣（手洗いと咳エチケット）の奨励に関するメッセージを掲示する
- 5. ゴミは毎日確実に清掃し、安全に処分する。

#### IV. 保護者や介助者、地域の人

##### キーメッセージとアクション

COVID-19は新しいウイルスであり、子供たちにどのように影響を与えるかについては、まだ研究段階です。どの年齢の人でもウイルスに感染する可能性があることはわかっていますが、これまでのところ、COVID-19の子供への感染例の報告は比較的少ないです。このウイルスは、今のところ主に持病のある高齢者の間で、致命的な感染を引き起こす可能性があります。

##### 最新の事実を知る

コロナウイルス感染症（COVID-19）の症状、合併症、感染の仕方、感染を防ぐ方法など、コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する基本的な情報を理解しましょう。ユニセフやWHOなどの信頼できる情報源や、各国の保健省の勧告などを通じて、COVID-19に関する最新情報を常に入手します。口コミやオンラインで流布している偽情報や迷信に注意します。

##### 子どものCOVID-19の症状（咳、発熱、息切れ）を認識する

まずはかかりつけの医療機関に電話をして医師のアドバイスを求め、アドバイスに応じて必要があれば子どもを連れて行きましょう。咳や発熱などのCOVID-19の症状は、インフルエンザや風邪の症状と似ていることがあることを覚えておいてください。お子さんの体調が悪い場合は、学校にはやらず、欠席と症状を学校に知らせましょう。家にいながら学習を続けられるように、読書や課題を依頼しましょう。子どもに簡単な言葉で状況を説明し、「大丈夫だよ」と安心させてあげましょう。

### 健康なときは子どもたちを学校に通わせる

熱や咳などの症状が出ていない場合は、学校に通わせておくのが一番です。ただし、通学に影響を与える公衆衛生勧告またはその他の関連する警告または公式の通知が出されている場合を除きます。

子供を学校に行かせないのではなく、学校やその他の場所での手や呼吸器の衛生習慣を教えあげましょう。例えば、頻繁に手を洗うこと（下記参照）、咳やくしゃみをした時には、ティッシュや肘をまげた内側で口や鼻を覆ったりして、使ったティッシュは蓋つきのゴミ箱に捨てること、適切に手を洗っていない場合は目や口、鼻に触れないことなどです。

### きちんと手を洗う方法

ステップ1：安全な流水で手を濡らす。

ステップ2：濡れた手を覆うのに十分な量の石鹸を塗布する。

ステップ3：手の甲、指の間、爪の下など、手のすべての表面を少なくとも20秒間こする。

ステップ4：流水で十分にすすぐ。

ステップ5：清潔で乾いた布、使い捨てのタオル、またはハンドドライヤーで手を乾かす。

特に食事の前後、鼻をかんだ後、咳やくしゃみをした後、トイレや洗面所に行った後、手が目に見えて汚れている時など、こまめに手を洗うようにしましょう。石鹸と水が容易に入手できない場合は、少なくとも60%以上のアルコールを含むアルコールベースの手指消毒剤を使用してください。手が目に見えて汚れている場合は、必ず石鹸と水で手を洗うようにしてください。

### 子どもたちがストレスに対処するのを助ける

子どもはストレスに対して、さまざまな方法で反応することがあります。一般的な反応としては、眠れない、おねしょをする、胃や頭に痛みがある、不安になる、引きこもりになる、怒る、しつこい、1人にされるのが怖いなどがあります。子どもの反応には支持的な方法で対応し、異常な状況に対する正常な反応であることを説明しましょう。彼らの心配事に耳を傾け、彼らを慰め、愛情を与えるための時間を取ってください。安全であることを伝え、子供たちを安心させてください。また、頻繁に彼らを褒めてあげてください。

可能であれば、子どもたちが遊んだり、リラックスしたりする機会を作りましょう。特に子どもが寝る前には、できるだけ規則的な日課やスケジュールを守るか、新しい環境で新しい日課を作るのを手伝います。何が起こったかについて年齢に合った事実を提供し、何が起きているのかを説明し、感染から自分自身や他の人を守るために何ができるのかについて明確な例を示します。今後起こりうることについて、安心できる方法で情報を共有してください。

例えば、子どもの体調が悪くて家や病院にいる場合、「家や病院にいる方が自分や友達のためにも安全だから、家や病院にいた方がいいよ。辛いこともあるだろうけど（怖いこともあるかもしれないし、つまらないこともあるかもしれないけれども）、自分や周りの人の安全を守るためにも、ルールを守る必要がある。まもなく良くなるよ。」とすることができます。

### 保護者・介助者・コミュニティメンバーのためのチェックリスト

- 1. 子どもの健康状態を監視し、病気の場合は学校に行かせない。
- 2. 子どもに良い衛生習慣を教え、模範を示す。
  - 石鹸と安全な水で頻繁に手を洗う。石鹸と水が手に入らない場合は、アルコール度数60%以上のアルコール系手指消毒剤を使用する。手が目に見えて汚れている場合は、必ず石鹸と水で手を洗う。
  - 安全な飲料水が利用でき、トイレが清潔に家庭で利用できるようにする。
  - 廃棄物を安全に収集、保管、処分するようにする。
  - 咳やくしゃみをティッシュや腕にして、顔や目、口、鼻を触らないようにする
- 3. 子どもが質問をしたり、気持ちを先生やあなたに伝えたりするように促しましょう。子どものストレスに対する反応は様々であることを覚えておいてください。
- 4. 生徒にお互いを思いやる気持ちの大切さを伝え、差別や偏見を防止します。
- 5. 学校と調整して情報を受け取り、学校の安全への取り組みをどのようにサポートできるかをヒアリングします（保護者会など）。

## V. 学童・児童

子どもや若者は、コロナウイルス感染症（COVID-19）の症状、合併症、感染の仕方、感染を防ぐ方法など、コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する基本的で年齢に適した情報を理解しておく必要があります。ユニセフ、WHO、国の保健省の勧告などの信頼できる情報源を通じて、COVID-19に関する情報を常に入手してください。口コミやオンラインで流布する可能性のある偽の情報や迷信に注意してください。

### 学童・児童のチェックリスト

- 1. このような状況では、悲しくなったり、心配になったり、混乱したり、怖くなったり、怒ったりするのは普通のことです。自分だけではないことを知り、親や先生など信頼できる人に相談して、自分自身と学校の安全と健康を守ることができるようにしましょう。
  - 質問をし、自分自身を教育し、信頼できる情報源から情報を得るようにしましょう。
- 2. 自分と他人を守りましょう。
  - こまめに手を洗い、必ず石鹸と水で20秒以上洗います。
  - 顔に触れないようにすることを忘れないでください。
  - 他の人とカップ、食器、食べ物、飲み物を共有しないでください。
- 3. 自分自身、学校、家族、地域社会を健康に保つためのリーダーになりましょう。

- 病気の予防について学んだことを、家族や友人、特に自分よりも年下の子どもたちと共有しましょう。
  - くしゃみや咳のときは肘の内側で口と鼻を覆ったり、手を洗ったりするなどの良い習慣を、特に自分よりも年下の家族のための模範になりましょう。
- 4. あなたの仲間を差別して悪く言ったり、病気であることについて誰かをからかったりしてはいけません。ウイルスは国境や、民族、年齢、能力、性別にかかわらず誰もが影響を受けることを覚えておいてください。
- 5. 具合が悪いと感じたら、親や他の家族に伝えて、家で過ごすようにしましょう。

### 年齢に応じた保健教育

以下は、COVID-19やその他のウイルスの拡大を予防し、制御するために、様々な年齢層の生徒をどのように参画させるかについての提案です。活動は、子どもたちの特定のニーズ（言語、能力、性別など）に基づき、また現地の状況に沿ったものであるべきです。

#### [幼稚園・保育園]

- ・ 咳やくしゃみは肘の内側で覆う、手洗いはこまめにするなど、健康に良い行動を心がけましょう。
- ・ 手を洗いながら歌を歌って、20秒洗う練習をしましょう。
  - 子どもたちが手指消毒剤で手を洗う「練習」ができます。
- ・ 手洗いをしたことを確認する方法を決め、こまめに手洗いができたことを褒めましょう
- ・ むいぐるみや人形を使って、症状（くしゃみ、咳、発熱）や、具合が悪いと感じたらどうするか（頭が痛い、お腹が痛い、熱っぽい、疲れているなど）、病気の人をどうやって慰めるか（共感性と安全な思いやりのある行動を養う）を示す練習をしてみましょう。
- ・ 子どもたちを、お互いに離れて座らせ、腕を伸ばして「羽ばたいてみて」、お友達に触れないように十分なスペースを確保させるようにしましょう。

#### [小学校]

- ・ 子どもの心配事に耳を傾け、年齢に応じた適切な方法で質問に答えるようにしましょう。子どもたちが自分の気持ちを表現し、伝えられるように促します。子どもが経験するかもしれない様々な反応について話し合っ、それが異常な状況に対する正常な反応であることを説明します。
- ・ 自分や他人の安全を守るために、子どもたちはたくさんができることを強調しましょう。
  - 人と人との距離（フィジカルディスタンス）の考え方を紹介しましょう（友人から離れた場所に立つ、人混みを避ける、必要なければ人に触らない、など
  - 咳やくしゃみを肘で覆ったり、手を洗うなどの良い健康行動に注目しましょう。

- ・ 子どもたちが病気の予防と制御について、基本的な概念を理解するのを助けましょう。  
「ばい菌」がどのように広がるかを示す練習問題を使っていても良いです。例えば、スプレーボトルに色のついた水を入れ、白い紙の上にスプレーします。水滴がどのくらいの距離を移動するかを観察してみましょう。
- ・ 石鹸と水で20秒間手を洗うことが重要であることを実演してみましょう。
  - 生徒の手に少量のキラキラを入れ、水だけで洗わせ、キラキラがどれだけ残っているかに気付かせたあと、石鹸と水で20秒間洗ってもらいます。
- ・ 生徒に文章を読ませて、リスクの高い行動を特定させ、どう行動を修正したら良いか提案させてみましょう。
  - 例えば、先生が風邪をひいて学校に来たとします。彼はくしゃみを手で覆いました。そのあと、彼は同僚と握手をしました。そして、ハンカチで手を拭いてから授業に出ます。先生は何か危険なことをしたのでしょうか？ 代わりに何をすべきだったのでしょうか？

### [中学校]

- ・ 生徒の悩みをしっかりと聞き、質問に答えるようにしましょう。
- ・ 生徒が自分や他人の安全を守るために、多くのことができることを強調しましょう。
  - 人と人との距離（フィジカルディスタンス）の概念を紹介します
  - 咳やくしゃみを肘の内側で覆ったり、手を洗うなどの良い保健行動に注目させましょう。
  - 家族のために健康的な行動の模範となることができることを覚えてもらいましょう。
- ・ 生徒に差別や偏見を予防し、対処するように促します。
  - 彼らが経験するかもしれない様々な反応について話し合っ、それが異常な状況に対する正常な反応であることを説明します。自分の気持ちを表現し、伝えるように促します。
- ・ 生徒の主体性を高め、重要な公衆衛生情報を啓発してもらいましょう。
  - 学校のお知らせやポスターを使って、生徒たちに自分たちの公共サービスのお知らせを作ってもらいましょう。
- ・ 他の科目に関連する健康教育を取り入れてみましょう
  - 科学では、ウイルスの研究、病気の伝播、予防接種の重要性についての内容を含めることができます。
  - 社会科では、パンデミックの歴史や公衆衛生と安全に関する政策の進化に焦点を当てることができます。
  - メディアリテラシーの科目では、批判的な思考者や作り手、効果的なコミュニケーター、積極的な市民になるための力を生徒に与えることができます。

### [高等学校]

- ・ 生徒の悩みをしっかりと聞き、質問に答えるようにしましょう。
- ・ 生徒が自分や他人の安全を守るために、多くのことができることを強調しましょう。
  - 人と人との距離（フィジカルディスタンス）の概念を紹介します
  - 咳やくしゃみを肘の内側で覆ったり、手を洗うなどの良い保健行動に注目させましょう。
  - 彼らが発見するかもしれない様々な反応について話し合っ、それが異常な状況に対する正常な反応であることを説明します。自分の気持ちを表現し、伝えるように促しましょう。
- ・ 他の科目に関連する健康教育を取り入れてみましょう
  - 科学では、ウイルスの研究、病気の伝播、予防接種の重要性についての内容を含めることができます。
  - 社会科では、パンデミックの歴史や公衆衛生と安全に関する政策の進化に焦点を当てることができます。
- ・ ソーシャルメディアやラジオ、地域のテレビ放送などを使って、生徒たちに公共サービス情報の告知をさせてみましょう。
  - メディアリテラシーの科目では、批判的な思考をする人や作り手、効果的なコミュニケーション、積極的な市民になるための力を生徒に与えることができます。

### 謝辞

この文書は、ユニセフCOVID-19事務局メンバー（Carlos Navarro Colorado, Maya Arii, Hugo Razuri）、およびユニセフのWASH、C4D、子どもの保護チームからの技術的支援を受けて、Lisa Bender（ユニセフニューヨーク本部、教育部門）が執筆しました。Maida Paisic（ユニセフ東アジア太平洋地域事務局）、Le Anh Lan（ユニセフ・ベトナム事務所）、Tserennadmid Nyamkhuu（ユニセフ・モンゴル事務所）、Dr Maria D Van Kerkhove（WHO）、Gwedolen Eamer（国際赤十字・赤新月社連盟）の厚意と協力を感謝の意を表す。

### コンタクト

Lisa Bender

([lbebder@unicef.org](mailto:lbebder@unicef.org))

Education in Emergencies

UNICEF New York